

大学院ニュースレター

久留米大学大学院医学研究科

第98号 / 2021年3月24日発行

編集 / 医学研究科長

『大学院生・教員・研究者としての40年間：続くワクワクは！』

解剖学講座（顕微解剖・生体形成部門）教授 中村 桂一郎

反省と期待をいくつか述べてみます。愛媛大学で大学院に入学して間もない頃、研究室の隣の席にイギリスから留学生がやってきました。同い年の彼は、研究を始めてすでに何年か経っていましたが、夕方には必ず図書館に行って、しばらく過ごしていました。その日届いた新着雑誌に目を通していたのです。「今日来た J Physiology には日本からの論文が何本載っていた」「新しい号ではなんとか大学からの論文がお休みやった」等々、話してくれます。お恥ずかしいことに当時、まだそうやって世界の最新の学術情報を常に知っておく意義を認識していませんでした。その後、彼を見習って、毎日一回図書館に行って、テーブルに並べられた新着雑誌をパラパラめくったものです。

今日であれば、図書館に行かずとも、手元の PC で世界の最新情報がいやというほど沢山入手できます。読まなくてよいものを選ばなければならない時代です。電子ジャーナルについてはオープンアクセス (OA) 化が話題となっていますが、最近では BioRxiv など、プレプリントの出版も注目されています。皆さんもう活用されているのかも知れません。いずれにしろ、かつ

ては学会や専門家同士の会話での耳学問でしか得られなかったまさに最新の情報に簡単にアクセスできます。ただ、Wikipedia をはじめとするネット情報でレポートを書いて満足している学生には、なにが大事か、本当なのか、その信憑性について判断する力が必須です。それにつけても、いつも本物に触れ、考える習慣が重要でしょう。

そのような手当たり次第に読み、考える習慣に関連して、大学院時代、論文は批判的に読めと教えられました。最近、久留米大学で定着しつつある協同学習の LTD では、人が述べることはまずは肯定的に捉えよというのが基本です。しかるべき人間関係や信頼を作り上げるに適切な交流と肯定的相互依存が必須です。その上で、独創性や世界初であることが大切であり、そこには競争も生じます。まずは協同の精神、その意識のもと、自他共に切磋琢磨できそうです。

ところで、大学院教育とは一人前の研究者を育てることが大きな目的です。研究とは、所定の期間内に問題点を把握し、解決策を模索し、答を求め、結論を公開する、その繰り返しで発展します。言われるままに、教わったとおりに実験し、得られた結

果を型通りの論文としてまとめるだけではおもしろくありません。研究費の審査で獨創性が評価されるように、人まねではなく、独自の道を見つけるということが研究者に求められています。医師として求められるリサーチマインドも然りです。繰り返しの中で、いつかはそれが体得され、意識されるでしょう。その時、先輩たちから引き継いだ伝統の重みを知ることもあるでしょう。かつて教わった運鈍根という言葉、うまく行かなくてもがいても、思いはいつか醸成します。辛いことはあっても、時をじっくり待つゆとりと、瞬間を見逃さない目を養いたいもの、逆に、それが許される場であって欲しいものです。

もう一つ、前述のかつての同僚との話、「新しい技術なくして発見なし」という彼の主張に、当時は反発していました。職人芸のように顕微技法の腕を磨き、洗練することで、見えなかったものが見えてくる。その苦労が重要であり、時間がかかるものだと思っていました。しかし、それだけで満足できるのか？人それぞれに思いは異なるでしょう。遺伝子情報やゲノム編集手技

が誰でも使える時代です。想像もしなかった新しいものが満ち溢れるこれからの時代、なにをどのように捉え、どのように研究を進めたら良いのか？これからの研究はAI抜きには語れないでしょう。学生時代にワンチップパソコンが売り出されてワクワクした世代の私にとって、あらゆる領域においてめまぐるしく変化する知識・概念、機器・装置の進歩を見るにつけ、皆さんの前に大きく広がる未来がとても羨ましく感じられます(^_-)

国手の矜持は常に仁なり。わかればわかることは大切ですが、不易流行もまた真。世界に向けて発信し、地域の人々に還元する。『仁』をモットーとする久留米大学の皆さんの研究の益々の発展とご活躍を祈念いたします！



事務通信

令和2年度 成績報告並びに令和3年度 履修希望調査実施について

修士課程・博士課程在学学生を対象に、令和2年度の成績結果一覧を3月下旬～4月上旬に配布する予定です。併せて、各自の履修状況を踏まえ、令和3年度に履修する科目を決定していただき、履修登録を行うための「令和3年度履修希望調査」を実施致します。書類が届きましたら、速やかに当該年度の履修登録科目を決定し、医学部事務部教務課までご提出ください。

※令和3年度大学院カリキュラムはそれに同封いたします。



博士課程の皆様へ

現在、博士課程の学生を対象に「研究題目および研究計画について」、「論文基礎（応用）研究実習実施研究計画について」を送付しております。専攻科目を分担されている方はどちらも2部ずつ送付を行っておりますので、それぞれの指導教授の署名・捺印の上、ご提出ください。未提出者は速やかに医学部事務部教務課までご提出いただくようお願いいたします。

第7回大学院医学研究科 学生研究発表会の開催について

令和3年度も学生研究発表会を12月6日（月）・7日（火）に開催します。平成28年度以降の入学生から第2学年もしくは第3学年で必修となっています。近日中にエントリー募集を開始しますので、大学院HPや院生メーリングリストをご確認ください。ご自身の研究の進捗状況を発信し、講座の枠を超えて横断的にフィードバックを得ることができる機会ととらえ、ふるってご参加ください。

定期健康診断実施のお知らせ

令和3年度は4月20日～23日（15:00～18:30）の間で行われます。都合がつく日時に受診をお願いいたします。なお、未受診者は各自で受けた健康診断証明書の提出が必要となります。やむを得ない理由で期間中に受診できない場合は、保健管理センター（医学部B棟1階）（0942-31-7690）までご相談ください。

| | |
|------|---------------------------------------------------|
| 健診期間 | 令和3年4月20日（火）～23日（金） |
| 受付時間 | 15:00～18:30 |
| 検診場所 | 筑水会館 1階 |
| 健診項目 | 身長、体重、血圧、内科診察（在学生・新入生） 胸部 X 線、尿検査、視力、聴力（新入生のみ） |

※登校前は必ず体温測定を実施、体調の確認をお願いします。

※社会人学生の方で、令和3年度中に勤務先で健康診断を受診される方は、受診後速やかに健康診断結果の写しを保健管理センター（医学部B棟1階）にご提出ください。

また、本学の職員で6月の職員定期健康診断を受診される方は、今回の学生健診を受ける必要はありません。（但し、6月の職員健診を期間中に受診しなかった場合は、各自受診のうえ（自己負担）証明書を医学部教務課へ提出してください。）

※当日は胸部 X 線撮影に適した着替えやすい服装で来てください。（ワンピースは不可!）



学生駐車場 2 次募集のお知らせ



大学院学生の皆様を対象に学生駐車場（7 番駐車場）の 2 次募集を行います。申し込み希望者は下記に従って、期間内の手続きをお願いします。

1. 申込期間：**令和 3 年 4 月 6 日（火）～ 4 月 13 日（火）厳守**
2. 募集台数：13 台
申し込み多数の場合は選考となります。提出書類に不備があった場合は、選考の対象外となりますので、記入漏れ等のないよう注意してください。なお、通学距離が、**大学より片道 2 km 未満の場合は申し込みできません。**
3. 提出書類：駐車場使用許可願（※） ・ 誓約書（※） ・ 車検証コピー
※印の書類については、医学部教務課窓口で受け取られるか、大学院医学研究科 HP (<https://www.kurume-u.ac.jp/site/gmed/>) よりダウンロードしてください。
4. 書類提出先：医学部事務部教務課
5. 使用開始時期：令和 3 年 5 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日
6. 使用許可通知：決定後、本人宛に通知します。
7. 許可証交付予定日：令和 3 年 4 月 19 日（月）～（医学部 B 棟 2F 愛恵会総務部）
※許可通知時に改めてお知らせします。
8. 料 金：22,300 円

後期入学試験結果発表！

令和 3 年 2 月 16 日（火）に行われた後期入学試験の結果は下記の通りです。

| | 修士課程 | 博士課程 |
|-----|------|------|
| 志願者 | 8名 | 16名 |
| 受験者 | 7名 | 16名 |
| 合格者 | 7名 | 15名 |

前期・後期合わせた合格者数は、修士課程が 25 名、博士課程が 20 名、入学者数は、修士課程が 25 名、博士課程が 20 名です。

編集後記

桜も満開となりいよいよ春到来です。新年度は修士課程 25 名、博士課程 20 名の新入生が入学予定です。大学院事務も新体制のもとで、今後も大学院教育の充実を図り、魅力ある大学院づくりを目指して参りますのでどうぞよろしくお願いいたします。（林）